



シリーズがん予防③ 乳がん・子宮頸がん検診

【問合せ】保健課

☎773-6811

乳がんとは

乳がんは乳頭から放射線状に広がる乳腺にできるがんです。

乳がんが見つかるきっかけは、自分で触って気が付いたり、検診で見られる場合が多いといわれています。

乳がんの症状

・しこり

乳がんが進行すると、腫瘍が大きくなり、自己触診をすると気付くようになります。ただし、しこりがあったとしても、すべてが乳がんというわけではありません。乳腺症などでもしこりができます。

・乳房のひきつれやただれなど

乳房の皮膚に近い部分にがんができる、えくぼのようなひきつれができたり、皮膚の湿疹やただれ、むくみなどの症状がでます。

乳がんは、自分で発見ができる可能性が高いがんです。月1回は自己触診を行い、40歳になったら2年に1回の検診を受けましょう。しこりや皮膚のひきつれなどに気が付いたら

ら早めに医療機関を受診しましょう。
平成29年度の検診結果

毎年乳がんが発見されています。精密検査を受けてがんが発見された人の全員が、乳房の自覚症状はありませんでした。

乳がん検診			
(年度)	27	28	29
受診者数	2,203	2,456	2,207
要精検者数	207	154	169
精検受診率	98.6	96.8	95.2
がん発見数	7	8	5

子宮頸がんとは

子宮頸がんは、子宮の入り口である子宮頸部にできるがんです。

子宮頸がんの症状

初期の子宮頸がんは、症状がほとんどありません。がんの早期発見のためには検診を受けることが重要です。20歳になったら2年に1回の子宮頸がん検診を受けましょう。不正出血があった、経血量が増えた、月経期間がいつもより長いなど気になる症状があれば医療機関を受診しましょう。子宮頸がんは検診などで発見しやすく、早期発見・治療ができ

れば経過や回復のよいがんといわれています。

平成29年度の検診結果

子宮頸がんのがん発見数は少ないですが、がんになる前の異形成が発見され、早期治療につながっています。

子宮頸がん検診			
(年度)	27	28	29
受診者数	2,378	2,562	2,261
要精検者数	43	50	44
精検受診率	88.4	86.0	84.1
がん発見数	0	1	0

9月はがん征圧月間

いつもの暮らしにがん検診を

【問合せ・申込み】保健課

☎773-6811

国民の2人に1人が「がん」になり、3人に1人が「がん」で亡くなっているといわれています。

初期のがんは自覚症状がありません。検診を受けることで、初期段階のがんを発見することができます。

早期に適切な治療を受けることで、体への負担が少なくなり、生存

率も大きく高まります。

市の住民健診は11月まで行っています。未受診者の申し込みを受けています。

がん検診を定期的に受けることを習慣にしましょう。



若者支援コミュニケーション・トレーニング開催

【問合せ・申込み】子ども・若者育成支援センター

☎773-6611

少人数グループでゲーム感覚のコミュニケーションを体験しながら、人と交流する楽しさを感じてみましょう。

日時 9月20日(木)

午後2時～3時30分

会場 子ども・若者育成支援センター

12階 音楽室

対象 市内在住の義務教育終了～39

歳の人

締切り 9月18日(火)

申込み 電話でお申し込みください。